

厚生労働副大臣就任にあたって

(2011.9.14)

9月5日、私、辻泰弘は、厚生労働副大臣に任命されました。今日までお支え下さいました皆様方のご支援、ご厚情によるものと心から感謝申し上げます。本来、このニュースをもって、速やかにご報告申し上げるべきところでしたが、就任後の挨拶回りや引き継ぎ、政府内の会議への出席などに時間を要し、結果として皆様方へのご報告が遅くなってしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。今後、皆様方から賜って参りましたご厚情を胸に、国民の幸せを求めて全力投球する所存でございますので、何卒、これまでに倍するご指導の程、お願い申し上げます。

今日、わが国が直面する政策課題の中で最優先のものは、東日本大震災に関わるものであり、物的、精神的両面にわたる復旧・復興を早急に果たすべく、国の総力をあげて取り組まなければなりません。同時に、国民生活を支えるべきセイフティーネットの不備・ほころび、社会のきずなの希薄化、孤独・孤立の広がりなどに直面する今日、厚生労働分野の政策の再構築が強く求められています。

「厚生」は「生」を「厚く」と書きますが、その生とは、生活の生、人生の生、生命の生、衛生の生、生身の人間の生である、その「生」を「厚く」することが「厚生」の意味であり、それこそが政治の使命でもあると確信しています。

私、辻泰弘は、今日まで皆様方に賜って参りましたご厚情の数々を胸に刻みながら、雇用、労働、医療、年金、介護、福祉、子育て支援、男女共同参画、食の安全など、生活の基盤を確立し、暮らしの安定を実現するため、職責をかけ全力を尽くす決意です。

何卒、今後、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

